

え ほ ん せ か い
絵本の世界

おとな いちどよ
～大人になってもう一度読みたい～

2月テーマ展示



2月テーマ展示 絵本の世界～大人になってもう一度読みたい～

書名	著者名	請求記号	資料ID	コメント
うさこちゃんのたんじょうび	ディック・ブルーナ	J/B	00028064	皆様お馴染み、ミッフィーの日本名はうさこちゃん。お花のワンピースとクマのぬいぐるみはこの本に登場します。幸せそうなうさこちゃんがかわいい！
マドレーヌといぬ	ルドウィッヒ・ペーメルマン	J/B	00028146	おてんばなマドレーヌが引きよせるステキな出会いとちょっとおどろく最後の展開に注目!!
だんめん図鑑：どうなっているの？	断面マン	J/D	1201701743	断面が見える!!物のしくみが分かります。
あさえとちいさいもうと	筒井頼子さく； 林明子え	J/H	00028515	この本で「しっかり妹の面倒を見るぞ!」という意識を育てられたのかもしれない。あたたかみのある絵と少しどきどきする展開に引き込まれます。
はじめてのおつかい	筒井頼子さく； 林明子え	J/H	00028575	気づけば家にあった馴染み深い一冊です。この本を読んでおつかいや手伝いに興味をもった思い出がよみがえりました。あたたかい絵と話にきっとあなたもなつかしくなるはずです。
ぼくのぱんわたしのぱん	神沢利子ぶん； 林明子え	J/K/23	00028709	この本を読んでパンをつくってみたいと思う人も多いはず。パンのようにあたたかみのある絵と文は、今読んでも楽しい気持ちになります。
からすのパンやさん	加古里子	J/K/7	00028669	子どもの頃に読んでもらったり、自分で読んだことがある人も多いと思います。いろんなパンが登場!どんな味なのか…。ワクワクするこの絵本が大好きです!
かわ：絵巻じたてひろがるえほん	加古里子	J/K	1201702760	かこさとしさんの絵本が7mの絵巻に!最後に2ページ追加され、迫力満点。絵本と比較してみるとおもしろい。
ふたりはともだち	アーノルド・ローベル	J/L	00028972	"かえるくん"と"まがえるくん"のふたりのおはなし。「教科書」で見たことある!となる方もいるかも…?
フレデリック：ちょっとかわったのねずみのはなし	レオ=レオニ	J/L	1199905231	みんなと違うフレデリックのすてきな話です。
ぐりとぐらのえんそく	なかがわりえこ、 やまわきゆりこ さく	J/N	1201101679	絵本といえば、ぐりとぐらシリーズだと思います。久しぶりに見てみると、毎回ホッくりさせてくれます。そういえばどっちがぐりでどっちがぐらなんでしょうか…?
オニのサラリーマン	富安陽子文；大 島妙子絵	J/O	1201603652	オニの関西弁が魅力!!
赤い蠟燭と人魚	小川未明文；酒 井駒子絵	J/S	1201603592	人間の業の深さを感じさせるかなしいお話と、絵のタッチの美しさにひきこまれる絵本です。
100万回生きたねこ	佐野洋子	J/S	1200302233	長く愛読されている絵本の一つです。100万回死んで100万回生きても、誰も好きにならず、自分だけが大好きだった猫が、大切な存在に出会い、そして命の尊さを知り、初めて流す涙。子どもの頃に読んだ人も、大人になって読むと違った感動に出会えますよ。※100万回死んだねこではありません。
バムとケロのにちようび	島田ゆか	J/S	1201601809	幼い頃から大好きなバムとケロのシリーズ!1ページ1ページに「カワイイ」が溢れていて見飽きることはありません。バムとケロのたのしい日曜日に癒されます。
かばんうりのガラゴ	島田ゆか	J/S	1201601805	"バムとケロ"シリーズが好きな人はきっと"ガラゴ"シリーズも好きになるはず!「旅する」カバン屋さんのガラゴにカバンを作ってもらいたいなあと思ひ終わったら思うでしょう!!
りんごがたべたいねずみくん	なかえよしを 作；上野紀子絵	J/U	1201900107	ねずみくんシリーズの中の1冊。りんごがとれず、飛べるとりや首が長いきりんをうらやましがるねずみくん。最後には優しい気持ちになります。
サニーカンボジアへ(地雷ではなく花をください、続)	葉祥明・絵；柳 瀬房子・文	J/Y/2	00248099	葉祥明さんの、春を思わせる温かみのある絵で地雷の恐怖を訴えている絵本。1997年に続が刊行されて25年…現状が気になります。
つまないつまない	ヨシタケシンス ケ	J/Y	1201702789	"つまない"をじっくり考えたことがありますか?ふと、日常の一部についてじっくり考えると面白い。そう気づかせてくれるヨシタケさんの絵本。ぜひ。
それしかないわけないでしょう	ヨシタケシンス ケ	J/Y	1201901789	ヨシタケシンスケさんの絵本!これまでにない感性の作家さんだと思います。大人の私たちでも共感できると思います。